

申志報



城岳公園内にある二中健児の塔に向けて 護国寺住職による読経



追悼の辞を述べる宇良宗真同窓会会長



生徒代表による平和の誓い

◆◆◆◆◆ 二中健児の塔慰霊祭しめやかに行われる ◆◆◆◆◆

6月23日は「慰霊祭」、県内各地で慰霊祭が催されています。二中健児の塔慰霊祭は、城岳同窓会、那覇高等学校、二中健児の遺族の共催で行われます。

当二中健児の塔には、沖縄戦で亡くなられた職員9名、学徒（5年生21名、4年生30名、3年生53名、2年生75名、1年生6名）が祀られています。

二中健児の塔慰霊祭式順

- 1、開式のことば
- 2、二中校歌献楽
- 3、黙祷
- 4、読経
- 5、追悼の辞
- 6、平和の誓い（生徒代表）
- 7、焼香（同期生、ご遺族、PTA代表、那覇高校職員、生徒会役員、学級代表）
- 8、弔電奉読
- 9、遺族代表挨拶
- 10、閉式のことば

追悼の辞

本日、ここ二中健児の御霊の前で、御遺族、城岳同窓会員、那覇高等学校職員、在校生の列席のもと、慰霊祭を挙げるにあたり、謹んで哀悼の意を表します。

忌まわしい大戦終結後、はや61年の月日が過ぎ、平成の世に生きる我々が、今日、平和と繁栄を享受できますことは、この地に眠る二中健児の尊い犠牲があったればこそと思います。しかしながら、御遺族の皆様にとりましては、愛する肉親を戦争によって奪われた無念さが、果てる時はないであります。あの戦争さえなければの思いが強く、世が世であれば、多くの子や孫に囲まれ、幸せな日々を送っていたことでしょう。

ここ二中健児の塔に祀られた196御柱よ、二中校歌の奏楽を聞かれたでしょうか。「楚邊原頭に風清く 永遠にゆるがぬ城岳 その秀麗の地を占めて 我が學舎は聳え立つ」那覇高校吹奏楽部、合唱部の演奏を聞きながら、御遺族の方々は、きっと、永遠に変わらぬ、少年の日の姿をまぶたに思い描かれたことでしょう。同じ時期に学窓にあり、戦火の中を幸いにも生き残った同期の者たちも、在りし日の友の元気な姿、あの言葉、あの笑顔が目には浮かび、万感胸に迫るものがあります。

この城岳の丘は、戦時中、県立第二中学校の学生たちが、毎月、一度の朝会を開いていた思い出の場所です。あの頃、校舎は軍隊の兵舎に使われ、近くの小学校の教室を借りての二部授業、軍需工場や飛行場整地への勤労働員のさなかでした。昭和19年、10月10日の大空襲で、その校舎も全て焼け果てた後は、学徒兵として動員され、多くの仲間が、鉄血勤皇隊の一員として、尊い命を散らしていったのでした。激しい戦火の中で、学生たちが、いかに学問への情熱を燃やしていたか、平和な世の中が来ることをどれほど待ち望んでい

たか。ここ城岳の丘を吹き渡る風の中に、亡き友や、師の声を聞くのは私だけでしょうか。

戦争ほど悲惨なものはありません。平和に見える今日でも、世界の随所で、内戦やテロにより、多くの命が失われています。いかなる理由があれ、戦争だけは許してはなりません。戦後60余年、いまなお日本や沖縄を取り巻く不穏な状況が解消されていないのは残念なことです。昔の、平和な沖縄に戻る我々の切なる思いはつるばかりです。

さて、我々城岳同窓会も、はや創立95周年を迎えました。21世紀を担う後輩たちのためにも、同窓会館を活動の拠点として、諸事業に力を注いでおりますが、ここで、いくつか、那覇高校の近況をご報告します。ここ数年、国公立大学合格者が増え続け、今年度も84名の生徒が難関を突破し、私立大学も二百名近い合格者を出しております。同窓会館を自学自習の場に提供している実績も出ているものと思われまます。また、文武両道を自負する通り、放送部、合唱部その他の部の諸大会での活躍も聞いております。今年度からは、一、二年生全クラスの早朝必修講座も定着するなど、学習環境も整いつつあり、校訓である「和衷協同」「積極進取」のもと職員、生徒共々切磋琢磨しております。健児の皆様も、どうか、暖かく見守ってください。

今日、ここに集う私たちが日々真剣に生き、新しい世紀の平和と繁栄の秩序を作り出していくことが、皆様の御霊に報いる道であると信じます。御霊よ、どうか安らかにお眠り下さい。皆様の尊い犠牲によって導かれた今日の平和を守り、沖縄を世界平和の発進の地とすることを、生徒、引率教官百九十余の御柱に誓って、追悼の辞と致します。

平成18年6月23日

城岳同窓会会長 宇良 宗真

会 員 寄 稿

『城岳新春歌会』

☆天賞 米盛 末子（七期）

十二時の時報に合はせ迎春の寿詞（よごと）を書きて初メールする

《評》新しい年へのカウントダウンに合わせて、即祝の言葉をメールする。現代的で、楽しい賀状と思われる。誰へ送ったのかは解からないが、新年の第一番に受け取った方は、とても喜んだに違いない。新春らしい寿ことばぎの歌として、この頁を飾るに相ふさわ応しい歌である。

☆地賞 永吉 京子（十二期）

新春に幼（おさな）の唄ふ手まり歌 どこまで弾む小さき夢のせ

《評》この作品のテーマは「手鞠唄」である。

手鞠について遊ぶ時にうたう唄だが、ここでは唄っているだけで、手鞠はついていない。しかし、下句の「どこまで弾む」にいかにも手まりをつけているような雰囲気を出している。新春だけに、結句の「小さき夢のせ」も効果的である。

☆人賞 仲地 唯渉（十五期）

春の日に熱き心の人々と手を取り行かん故郷の旅
《評》リズムがよく、口ずさみやすい作品である。

しかし、「熱き心」「手を取り行かん故郷の旅」は抽象的で、歌の背景が読み手に伝わってこない。もっと「具体」を入れることで、作者の感動を伝えることができるのではなからうか。

今後の活躍に期待し、来年はまた、素晴らしい作品を大勢の方が寄稿して下さるよう、お願いしたい。

新春の感動を歌を通して伝えて下さった歌人の皆様
に感謝します。

選者 比嘉 美智子

（沖縄タイムス歌壇選者）



卒業記念

那覇高等学校校長 翁長 武範



今年4月に那覇高校へ校長としてきました翁長武範と申します。城岳同窓会会員の県立第二中学校並びに那覇高校の先輩

の皆様よろしくお願ひします。

私は東京オリンピックの年に那覇高校へ入学し、昭和42年3月3日に卒業した那覇高校の20期生です。当時は1クラス50名の16クラスで、那覇高校の全生徒数は2250名ぐらいだったと思います。

また、昭和50年から57年までの7年は数学の教師としても本校へ勤務していました。再び那覇高校へ勤務できることを大変嬉しく思っています。

那覇高校の20期生は卒業生数が768名と一番多い期で、早いもので卒業して今年で40年目を迎えました。

20期生の卒業記念は日本庭園で、B校舎とC校舎の間に設置されました。名前も生徒の応募の中から6組の国場和夫君の提案した「岳逢園」に決まり、庭園の中央の大きな石に刻まれました。ガジュマルや琉球松等、沖

縄の木々も入ったきれいな庭園でした。でも校舎建築でその庭園も撤去され、そこにあった木々も石もバラバラに校内に設置されました。

庭園の中央にあった「岳逢園」と書かれた石は、現在体育館と武道館の間の松とともに移植されています。また、校舎建築の時、勤務していた当時の事務長が、「校門の前のガジュマルはあの庭園にあったものだよ。大事にして下さい。」と僕に話してくれました。

赴任して校内を回って見たのですが、卒業記念で各期いろいろな記念品を考えて学校に残したものの、校舎の建て替え等で今はほとんど見当たりません。それでも20期の卒業記念を残してくださった当時の皆さんに感謝しています。

現在、学校の中には、学生の頃から残っている建物はありませんが、教員として勤務していた頃から残っているものに体育館があります。体育館は老朽化していて、建て替えをしないといけません。そのとき、体育館の近辺にある卒業記念の碑や体育館建築記念物等をできるだけ残していければと思います。

那覇高校ニュース

今年度も那覇高校は進学、部活動両面で良好な成績を残しました。進学面では、琉球大学を中心に、国公立大に84名の合格者を出し、私立大180名、専門学校55名、就職8名、その他を含めると323名の進路が決まりました。ここ数年順調に実績を伸ばしつつあるのは、7時30分より始まる0校時の定着と諸講座の充実の効果が因として挙げられると思われます。

部活動面では、総合体育大会において、弓道部の平田真君（2年）が優勝、水泳部門で女子が総合2位、個人では比嘉奈津子さん（1年）が背泳の百、二百で優勝、嘉数涼子さん（1年）が百、二百のバタフライで優勝するなど好成績を収めました。又剣道部も男子団体2位、女子団体3位と頑張りました。

文系では、放送部がNHK杯県大会でテレビ部門最優秀をはじめ、各部門で優秀な成績を挙げ、全国大会参加を勝ち取りました。伝統を誇る吹奏楽部は、今年度も全国高等学校総合文化祭に、県代表として総勢80名が参加し、全国の高校生と友情の輪を広げました。その他、県下の各大会において、多くの部が活躍、好成績を収めていますが詳細は省かせて頂きます。話題は変わって、去る6月23日の慰霊祭に先駆けて、18日日曜日に、同窓会主催、第1回「二中前クリーン大作戦」が行われました。那覇高生を主体に、数百名の参加を得て、学校周辺、裁判所通り等を徹底的に清掃し、マスコミにも取り上げられるなど好評で、今後恒例行事になります。

城岳同窓会定期総会・懇親会

平成18年度定期総会・懇親会は5月20日(土)午後5時よりパシフィックホテルで開催された。総会は例年通り、平成17年度事業報告、決算報告、18年度事業計画(案)、予算(案)の審議が行われ、総会で承認された。

懇親会は、「心一つに一世紀、二中・那覇高 我らが母校」のテーマのもとに29期の皆

様が幹事となって運営された。独唱、ミニコンサート、ジャズ演奏(ダンスタイム)、ビデオ放映、大抽選会、本年度奨学生紹介、城岳賞贈呈、記念品贈呈など多数のプログラムが用意され、大変盛り上がった。来年は30期の皆様が運営することになっている。



那覇高校茶道部の後輩たちが、開会前に会場入り口で、ウェルカム・ティーを用意して先輩のみなさんをお迎えしている。



平成18年度城岳同窓会総会



宇良宗真(二中33期)同窓会会長挨拶



城岳同窓会奨学金の授与 赤嶺萌さん(那覇高3年)



翁長武範(那覇高20期)那覇高校校長挨拶



與那覇博明(那覇高29期)懇親会実行委員長を囲んで記念撮影、御苦労さまでした。

平成18年度の主な事業計画

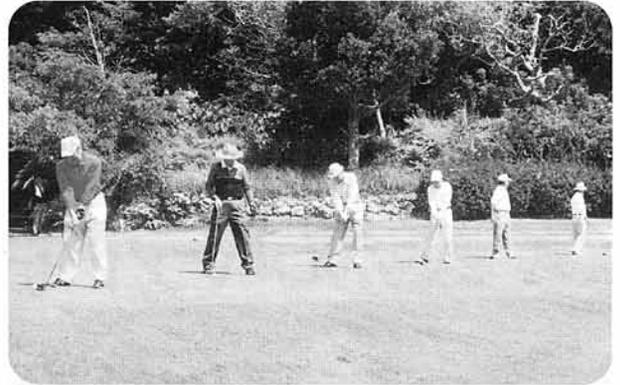
今年度の主な事業計画は、下記の通りであるが、特筆されることは、今回から毎年「慰霊の日」前の日曜日に、那覇高等学校の生徒と城岳同窓会による「二中前クリーン大作戦」が実施されることである。

- ◆ 4月20日(木) 第1回理事会及び評議員会
 - (1) 平成17年度事業報告及び決算報告
 - (2) 平成18年度事業計画(案)及び予算(案)の審議
 - (3) 理事の選任について
 - (4) ホームページ掲載広告について
- ◆ 5月20日(土) 平成18年度総会及び懇親会

- ◆ 6月18日(日) 城岳同窓会・那覇高校共催・樋川及び二中前自治会協賛「二中前通りクリーン大作戦」
- ◆ 6月23日(金) 二中健児の塔慰霊祭
- ◆ 9月1日(金) 会報12号の発行
- ◆ 9月29日(金) 城岳同窓会員交流ゴルフコンペ(琉球ゴルフにて)
- ◆ 11月 第7回那覇高校・首里高校対抗スポーツ大会
- ◆ 12月15日(金) 新春歌会募集、ホームページで発表
- ◆ 平成19年3月1日(木) 第60期生同窓会入会式(那覇高校体育館にて)



「二中前通りクリーン大作戦」
約400人が参加、6月18日



城岳同窓会ゴルフコンペ始球式
2005年9月29日(琉球ゴルフにて)



校門前のガジュマル
翁長武範校長等20期生の記念樹

城岳同窓会館ご利用のご案内

同窓会員の親睦の場、城岳同窓会館をご存知ですか。

- ・ 2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室
- ・ 3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。
- ・ 4階は進学指導教室として、学校が活用しています。

城岳同窓会ホームページ

<http://www.jogaku.or.jp>

城岳同窓会会報

編集発行 城岳同窓会 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525